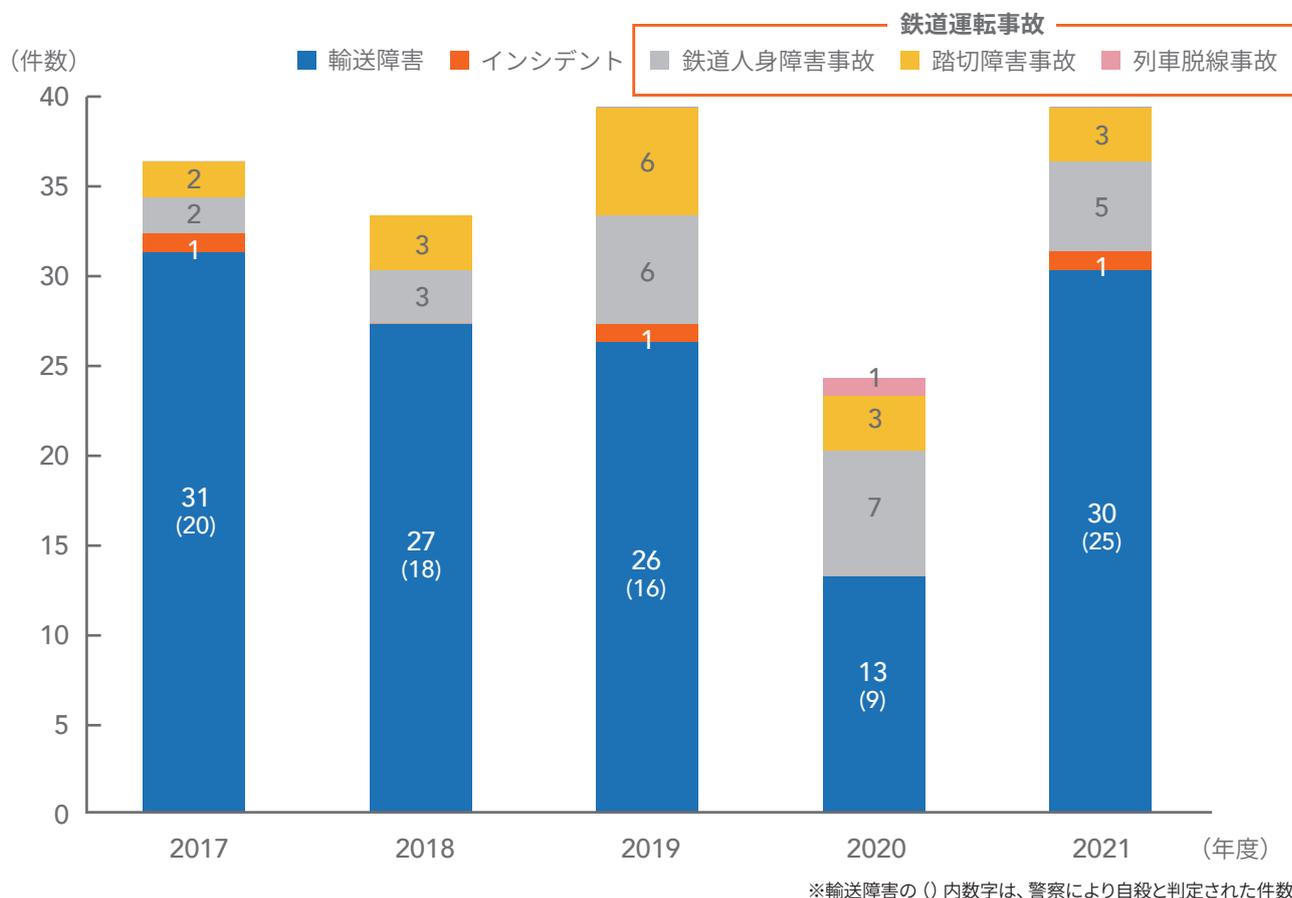


## 04 | 鉄道運転事故等の発生状況

### 鉄道運転事故等の発生状況

過去5年間の鉄道運転事故、インシデント、輸送障害などの発生状況は以下の通りです。



### 01 鉄道運転事故の発生状況

鉄道運転事故とは、法律により国土交通省に報告することが定められている事故のことで、列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故、踏切障害事故、道路障害事故、鉄道人身障害事故、鉄道物損事故があります。2021年度は踏切障害事故が3件、鉄道人身事故が5件発生しました。なお、踏切障害事故3件は、すべて遮断された踏切への進入によるものでした。

### 02 インシデントの発生状況

インシデントとは、鉄道運転事故には至らなかったものの鉄道運転事故が発生する状況であったと認められる事故をいいます。2021年度は、定期検査時に発見した台車枠の亀裂(125mm)によるインシデントが1件発生しました。

### 03 輸送障害の発生状況

輸送障害とは、鉄道運転事故以外で、列車に運休や30分以上の遅れが発生した事態をいいます。2021年度の輸送障害は30件発生しました。5件は自然災害や線路内への人の立ち入りが原因で、25件は警察により自殺と断定されています。

## 主な輸送障害の概要

日時	2021年8月29日(日) 7時18分
場所	京都線 高槻市駅
概況	大阪梅田駅行き列車が、高槻市駅を出発する際、起動できなかったことから運転を取消しました。
原因	電車を加速・減速させるモータの電流を制御する装置(制御装置)内の高電圧配線の端子部が、通常と異なる順序で取り付けられていたことから過熱・焼損しました。これにより制御装置が動作せず、起動できなくなりました。
対策	① 当該装置を含めた全ての作業手順書を点検し、間違いなく組み立てることができるように内容の見直しを行い、再発防止を図りました。 ② 関係する係員に対して電気的な基礎教育を行うなど再発防止に向けた取組を行いました。  なお、当該箇所での取り付け誤りが起こらないよう、取り付け部品を一体型に改良しました。

## 自動車接触事故の概要

日時	2021年9月15日(水) 21時22分
場所	神戸線 芦屋川～岡本駅間 新梅林(しんばいりん) 踏切道
概況	<p>新開地駅行き特急列車が岡本駅の大阪方にある新梅林踏切道手前に差し掛かった時、完全降下している同踏切道の山側の遮断桿を押しつけて軌道内に侵入する自動車を発見しました。</p> <p>担当運転士は短急気笛吹鳴と同時に非常制動の処置をとりましたが、当該自動車はそのまま侵入を続け、先頭車両の前面右側下部と接触し、列車は停止しました。</p> <p>乗用車の運転手と列車内のお客様1名(軽傷)が負傷しました。</p> <p>21時45分に大阪梅田駅と夙川駅間で折り返し運転を開始しましたが、夙川駅と新開地駅間では運転を終日見合わせました。25時05分に復旧作業が完了し、翌日の初発より通常運転を行いました。</p>
原因	自動車は踏切道山側に停車していましたが、停車中にドライバーが後部座席に注意を向けた際にブレーキペダルの踏み込みが緩み、遮断中の踏切道内に自動車が侵入したとみられています。
取組事項	事故後に、運転再開に向けた復旧対応や社内の情報連携などについて振り返りを行い、復旧時の体制や対応方法などの改善点があったかどうかを検証し、その内容を社内で共有しました。



車両被害状況



地上設備被害・復旧状況